

## 第 359 回 昭和の森自然観察会

### 今日からはじめよう バードウォッチング

坂本文雄（佐倉市）

日時：2022年1月9日（日）10時～12時 天候：晴れ  
参加者：19名（大人13名、子ども6名） 指導員10名 事務所1名 計30名  
担当指導員：和仁 坂本 木下

前々日の雪が日陰に残り、朝は凍結する冷え込みでしたが、日が昇ると共に温度は上昇し、無風でしたから絶好の観察会日和になりました。

新型コロナウイルスのオミクロン株の感染者が急増している現状から感染対策として全員の検温とマスク着用は当然の事、使いまわしの望遠鏡を覗く時も事前配布の透明アクリル板を接眼レンズに当てて目が機材に触れないようにしました。マスク着用では双眼鏡も鼻息で曇るので困りますが、我慢しなければなりません。

先ずバードウォッチングの催しに初参加の方を尋ねたところ5～6名の挙手がありました。この会の目的は初心者向けだから遠慮なく振舞ってほしいと強調し、緊張をほぐしてから3班に分かれて別々の方向へ歩きました。但し、今季の冬鳥渡来状況は私が見る限りどこでも芳しくありません。当日も出発前に掲げた目標の30種には届かず結果は以下の24種でした。これは3コース各班の合計です。

オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、カイツブリ、キジバト、オオバン、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジ、番外オオハクチョウ(飼育)カワラバト(別名ドバト外来種)

1班の担当は大ベテランの和仁さんで86歳になったそうです。昭和の森観察会担当者としては高齢記録ではないでしょうか。日頃から太極拳や自宅近くの調整池に飛来する野鳥のカウントなどで平均6000歩歩いているそうですからこれが健康の秘訣だと思います。2班は坂本が案内しました。野鳥が何を食べるかが私の関心あるテーマですから、椿の蜜に集まるメジロの話やハクウンボクの実を食べていたヤマガラに時間を割きました。3班は木下さんの担当で沢山の資料を駆使して、子どもの興味を引き付ける技があります。解散後も子どもの質問攻めにあっていました。

参加者の感想としては梅に来る緑色の鳥がウグイスではなく、メジロと知りびっくり。トラツグミを去年は見られたのに寅年の今年は会えず残念。日本海側は大雪で地面がすっかり覆われているようですが、スズメは餌がとれているだろうか心配。資料として配布された写真付きのミニ図鑑が役立った。等々おおむね好評でした。



スタート前の挨拶など(梅宮)



椿にメジロ(坂本)